

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 25



つるあきら
鶴彬の
記念碑

大阪市中央区

川柳を武器に時代と闘った反戦川柳人

戦争に突き進む 時代に抗した生涯

「暁をいだいて闇にゐる雷」
大阪城公園の一角にひっそりとたたずんでいる記念碑に刻まれた川柳です。作者の鶴彬（本名 喜多一）は1909（明治42）年石川県高松町（現かほく市）に生まれた社会派川柳作家です。15歳から詩や川柳を作り始め、17歳で大阪で工場労働者として働いたのち上京。川柳の同人誌に入ってプロレタリア川柳を提唱しました。

1930（昭和5）年、徴兵され



「川柳は一つの武器である」と句作を続けた鶴彬。記念碑の除幕式には全国から170人が参列しました

て軍隊に入りますが、1931（昭和6）年に治安維持法違反で大阪城内にあった大阪衛戍監獄に収監されました。1938（昭和13）年、獄舎で赤痢にかかり、豊多摩病院のベッドに手錠でくくりつけられたまま亡くなりました。

ペンには剣よりも強し 不屈の17文字が持つ力

鶴彬は29歳で没するまでに川柳1044句、詩14編、評論85編を残しました。「米つくる人人粟ひえ食べて」「ロボットを殖やし全部を餓首する」など貧しい農民や労働者の哀苦を詠み、「手と足をいだ丸太にしてかえし」や「俺達の血にいろどつた世界地図」と、日本の侵略戦争を痛烈に批判しました。



旧陸軍第4師団司令部庁舎だった大阪市立博物館（現在は使われていません）。大阪城は戦前・戦中は関西の軍事拠点でした

大阪城公園の記念碑は没後70年を記念して、2008年9月14日に建てられました。

Culture Navi かるちがーなび

市長の言いなりではなく 市民の立場に立とうとする職員もいるんです



「思想調査アンケート」裁判
原告59人の決意
スタンダップ
No.14 山田 倫子さん

「正確な記載がなされない場合には処分の対象となりえます」と書かれ、橋下市長のサインが記されていたアンケート。ただならぬものを感じましたが、内容は仕事とは無関係の思想信条に関ることが大半で、しかも組合活動に誘った人の名前を書かせるなど、仲間を「売れ」と言わんばかりの内容に憤りをおぼえました。

したが、処分への不安はありました。裁判の原告になることも悩みましたが、勤務評定や条例でしぼられ、自由にものが言えない職場のもとで市民に犠牲を強いる市政が進められていく、この中でも市長の言いなりではなく市民の立場に立とうとしている職員もいるのだ、と示したくて原告に加えてもらいました。

「スタンダップ」はシンガーソングライターのかわさきゆたかさんが作曲した「思想調査アンケート裁判」の応援歌です。

組合の論議に共感し、提出しないことにしま

多くの方々に支えていただき有難うございます。これからもご支援よろしくお願ひします。

中原 中也

冒頭の二句で、このあと「汚れつちまった悲しみに今日も風さへ吹きすざる」と続きます。「山羊の歌」所収。18歳のとき同棲中の恋人が親友（小林秀雄）のもとへ走り、その後、結婚して授かった子が病没してしまいます。精神の均衡を失った中では、入退院をくり返したあげく、結核性脳膜炎で没しました。享年30。世紀末風の生の倦怠と不毛の夢が、中也独特の投げやりな調子で哀切にうたわれています。

16mmフィルムが えいがか



（映画の宣伝チラシから）

キャプテン・フィリップス

ソマリア海賊と命がけで 接した船長の実話ドラマ

2009年にソマリア海域で実際に起こった海賊船による貨物船人質事件を映画化したサスペンスドラマです。援助物資の食糧を積み、ケニアに向かって航行していたコンテナ船マースク・アラバマ号が、ソマリア海域で海賊に襲われ占拠されます。フィリップス船長は、20人の乗組員を解放すること引き換えに拘束され、1人でソマリア人の海賊と命がけの駆け引きを始めます。米海軍の特殊部隊の救出作戦とともに、緊迫した4日間を描きます。

ソマリアの海賊と言ってもその多くは漁師だといえます。彼らの背景には腐敗した貧しい国があり、絶望的で希望がない切羽詰まった状況という背景をもっています。映画の中で、フィリップス船長が「漁師なら船を襲わなくてもほかに方法はあるだろう」と言うのに対して、海賊のリーダーが「アメリカならそうだろうがここはソマリアだ」と言うセリフに貧しい国の実態が出ています。主役のフィリップス船長にはトム・ハンクス。2度のアカデミー主演男優賞を受賞した演技派だけに、海賊たちとの息詰まる攻防に迫真の演技を見せています。主要な海賊は新人。上映時間は134分。

心に響くひとこと

汚れつちまった悲しみに
今日も小雪の降りかかる

淀みのない語り口調で理路整然と話す中で道化を交える彼の話術は、まさに至芸といえるものでした。2000年に芸能界を引退し、その後も全くと言ってよいほど公の場に姿を見せなくなりました。生き様まで「芸人」であるような芸人が、すっかり減ってしまった昨今、彼の「確固たる姿勢を持った芸」の面白さ、凄さが改めてわかります。「芸人とはかくあるべし」という彼の哲学がこの一言に表れています。

弟子が遅刻したって言い訳がおもしろけりゃ許すんですよ。それがおもしろく
なかったら怒るけど
上岡 龍太郎（お笑い芸人）